

【資料3】 主な課題(案) ～現況分析の中間報告を踏まえた、施設整備に向けた主な課題のキーワード案について

◆施設現況を踏まえた課題

○安全対策

- ・外壁・内壁タイル等の劣化、危険防止設備や対策の未対応
- ・事務室からの入退館者管理の難しさ(監視カメラの設置)

○利用利便性の向上

- ・空調の効きが悪い、音響設備・移動間仕切の劣化、設備が古く使いにくい
- ・プロジェクター設備や電動スクリーンがない、受変電容量の不足
- ・授乳室が整備されていない、おむつ交換台がない、子どもトイレがない
- ・Wi-Fi、館内サインの使いにくさ

◆郷陽会館の利用者ニーズを踏まえた課題

○多目的ホールの充実や展示機能の調整

- ・ステージ拡大、電動間仕切設備の導入
- ・利用度の高いギャラリー等の展示機能の確保

○設備・備品の充実

- ・白色LED、コンセント増設、備品倉庫
- ・プロジェクター、電動スクリーン、展示パネル、長テーブル、掲示板等の充実
- ・トイレの改修・洋式化

○低利用スペースの有効活用

- ・プロムナード(ギャラリーの外側)スペース、中庭(竹林)スペース

◆市民活動拠点の利用者ニーズを踏まえた課題

○NPOセンター機能の充実

- ・相談・受付・支援等の業務可能な事務所スペース確保

○多様な市民団体等の活動や交流を支える環境の充実

- ・おしゃれなコワーキングスペースや、交流空間の充実
- ・設備・備品・共有データの充実
- ・団体等の活動・イベント情報や各種支援情報の提供

○市民活動団体の活動を支援する団体固有スペースの確保

- ・団体固有スペース(書類保管場所など)への配慮の検討

◆屋内型子どもの遊び場の利用者ニーズを踏まえた課題

○子どもが遊びたくなる場所の整備

- ・体を動かせる施設、屋内遊具、五感を刺激する施設の導入
- ・創造性や自発性を育む遊び場、地域学習やふれあい・交流・体験の場

○子育て層が安心できる居場所と環境づくり

- ・子どもの遊び場が見える休憩や交流のスペース
- ・親子や親同士の交流、情報交換、助け合い等ができる場
- ・子育てに関する便利・支援情報の発信や、相談、グッズ交換
- ・子どもを預けられる場所、授乳・おむつ交換場所、子どもトイレ
- ・安心な空間(床を這える安全なマットなど)

○多様な利用者ニーズの共存が可能な環境づくり

- ・様々な層(年齢、静的・動的空間)のエリア分離や時間帯分離

◆施設全体の整備や運営の課題

○使いやすい駐車場の充実

- ・駐車場台数の増大(ピーク時対応、集客と活用を考慮した規模拡充検討)
- ・駐車場から入口までの屋根付き通路の設置

○ユニバーサルデザイン

- ・様々な交通弱者が移動し利用しやすいバリアフリー等環境整備

○屋外イベント等への対応強化

- ・キッチンカー設置スペースの確保と、電源・炊飯場等の増強
- ・施設への車での搬出入のしやすさ(乗り入れ緩和や屋根の高さ確保)

○お洒落なカフェ機能の増強の検討

- ・気軽に利用できる、子どもや市民イベント等が見えるカフェ・休憩室
- ・施設への車での搬出入のしやすさ(乗り入れ緩和や屋根の高さ確保)

○利用者の安全・安心を確保

- ・歩道の段差解消など、ベビーカーや小さいお子さんが移動しやすい環境を整える
- ・セキュリティや安全面への配慮

◆施設全体の実現化や運営面での課題

○適切な施設利用料金と、重点ターゲットへの支援

- ・無料化や安価な利用料金設定と、既存施設料金体系との調整
- ・主催者で清掃ができる仕組みづくり(必要負担軽減)
- ・子育てで家庭や学生等に優しい、費用負担軽減の支援

○多様な利用者の拡大に資するサポート体制の強化

- ・コーディネータの配置(専門的アドバイスや新たなニーズへの対応など)
- ・柔軟なルール設定、利用時間の柔軟な対応
- ・公共施設予約システムの構築

○財政状況を踏まえた適切な公共投資の推進

- ・大規模遊具施設整備型かフレキシブル空間利用型か要検討

◆地域特性を踏まえた施設の特色化や周辺施設連携の課題

○施設特性や周辺施設と連携した集客・滞留の促進

- ・鯖江市の名産・特産品をアピールするコーナーや展示施設の整備
- ・レッサーパンダや眼鏡、漆器の動画紹介や、体験学習・創作イベント開催
- ・体操協会やスポーツ協会と連携した、体操体験教室の開催
- ・西山公園周辺ゾーンとの連携した歩いて散策できる体験交流イベント開催

○地域特性を活かした多様な市民の利用促進につながるソフト施策の充実

- ・利用促進につながるよう、段階的な社会実験やイベントを開催しつつ、徐々に利用者の輪を増やしていく方向が重要
- ・子どもや子育て世代に限定せず、学生主体の活躍の場や、高齢者等の生きがい活動の場づくりなど、幅広い市民の利用と関連活動が活発化するようなソフト施策を促進していくことが有効かつ大切。